

(別紙4(2))

事業所名 グループホームカリヨンの郷「新千秋」

## 目標達成計画

作成日: 平成 26 年 10 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災に対する体制が不十分である。	災害時に対する知識や技術を全職員が徹底できるような体制を築くことができる。	年2回の防災訓練以外に、防災訓練や勉強会を開催していく。防災設備の現状を全職員へ周知できるようにしていく。	12ヶ月
2	23	利用者に関する記録が抽象的すぎた記録内容となっている。	記録内容を具体的にして、情報の共有化を強化することができる。	実際に利用者が発した言葉や職員が声をかけた内容を具体的に記録していく。	6ヶ月
3	13	施設内・施設外を問わず、研修を増やしたい。	前年度の研修回数を上回る回数の実施ができる。	正規職員・パート職員関係なく、全員が公平に研修参加できるよう努めていく。	12ヶ月
4	1	理念の共有が出来ていない。	利用者本位に則したグループホーム独自の理念を策定できる。策定した理念を職員全員で共有することができる。	利用者や職員の声を聴きだし、新しくグループホーム独自の理念を策定する。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。